

資料1

刈羽村の学校等における

保護者への引渡し訓練について

刈羽村では、原子力災害時を想定した園児、児童および生徒の保護者への引き渡し訓練を令和2年度から実施している。

刈羽村内には保育園、小学校、中学校が各1校存在し、これまですべての学校において訓練を実施している。各施設と訓練実施年度は以下のとおり。

- | | |
|---------|------------------------|
| ・かりわ保育園 | 令和2年度、令和5年度（令和8年度実施予定） |
| ・刈羽小学校 | 令和3年度、令和6年度 |
| ・刈羽中学校 | 令和4年度、令和7年度 |

【訓練の主な想定】

実施年度により若干の違いはあるものの、おおむね下記のような想定において訓練が行われている。

- ①震度6強程度の地震の発生により校庭等へ避難後、余震が見られないため、教室に戻り子どもたちを一時待機とする。
- ②新潟県災害対策本部から刈羽村災害対策本部へ、原子力災害における警戒事態（AL）となった旨の連絡。これを受けて、刈羽村原子力災害対策本部は各学校に対し、警戒事態となったため、保護者への子どもの引き渡しを実施し、避難指示に備え避難準備を開始するよう伝達。
- ③上記連絡を受け、各学校はそれぞれの伝達手段により保護者に対し子どもの引き取りを要請。子どもたちに帰宅準備をさせ、教室から引き渡し場所（体育館など）に移動。
- ④迎えに来た保護者が子どもの家族・親族であることを教員が確認し、子どもを引き渡す。学校側は、定期的に刈羽村原子力災害対策本部に対し、引き渡し完了人員数および学校に残っている子どもの数を報告。これを受け、刈羽村はバスの手配・準備を行う。
- ⑤引き渡しの最中に事態が悪化し、施設敷地緊急事態（SE）に発展。刈羽村原子力災害対策本部からの指示により、保護者の迎えが来ていない子どもについては、県が手配するバスにより避難を行うことを決定。保護者に対し、残っている子どもたちをバスで避難させる旨連絡。
- ⑥学校に到着したバスに子どもたちを乗せ、避難を実施する。



【訓練参加者アンケートの結果（自由記述部抜粋）】

以下の内容は、新潟県の「原子力防災訓練評価報告書」より抜粋していますが、一部の年度においてはアンケートの実施が無く、また柏崎市と刈羽村のアンケート結果が分離されていない年度もあるため、刈羽村のアンケート調査内容を独立して抽出できる年度のみ記載しております。

[かりわ保育園]

〈令和5年度〉

- お迎えの待機の1時間、頭巾をかぶり、列になり、静かに待つ、目の前には保護者がどんどん来園し、待っている子どもたちにしたら、実際の緊迫した状況に加え、不安がどんどん大きくなっていくだけだと思った。もっと子どもの目線に合わせ、少しでも安心して、安全に確実に保護者へ帰すことが、園として必要だと思った。例えば、ある程度お迎えが来たら、少しまとまって、職員が一人、絵本や紙芝居を読むなどし、チェックや見守りは確実にすることは継続などは…。
- 大切な訓練なので、全員参加が必要であると感じた。
- 子ども達の引き渡しについて、手順、対応が概ね理解できてよかったでした。
- 子どもの命を守る大切な訓練で、毎月行う訓練ではない？のでもう少し保護者の参加を求めてもよいのではないか？？と思います。
- 引き渡し訓練の流れを理解できました。バス避難の練習、方法なども確認できるとよいと思います。今回は天気も良く、全て手はずを整えての訓練でしたが、雪が降っている時等いろいろな条件での対応のしかたを話し合っていた方がよいのではと思いました。
- 多くの保護者から協力をいただき、実際に引き渡しの訓練ができたことが良かった。保育士も園児も玄関の方を向いて座ったことで、迎えに来た保護者が遠くから見えたので、引き渡しに手間どることなくスムーズに出来た（以上児）。
- 迎えが来ない園児の待ち時間が長くて可哀想だった。実際に災害が起きた時は、保護者を待つ時間がもっと長くなることが予想されるので、子ども達が飽きずに待てる工夫をする必要があると感じた。
- 防災頭巾を長時間かぶり続けるのは大変だと思った。季節によると思うが、防災頭巾をかぶり、マスクもするので、脱水の心配もあると感じた。
- 場合によっては、屋外で保護者の車両の誘導に当たることもあると思うが、屋内退避を必要とする状況で防護服なしで従事するのは不安と抵抗を感じる。
- 園児を集合させておく時にきょうだい関係を一緒にしておくべきだと思った。保護者にしてみたら2度手間。本部という形で引き渡しにきた人の受け付け場を設けた方がスムーズだと思う。保護者は園児を引き渡すのみなど。確認しつつ受け渡すことが2度手間と思

った。

- もしもの時を考えて行う必要性があると感じた。緊迫感が感じられなかった。
- 実際に災害が起きた場合、どうすべきかを考え、職員同士確認し合うことができた。
- できる限り大勢の保護者に参加していただき、引き渡し訓練ができるとよいと思う。1年に1回は引き渡し訓練を行うと、保護者も職員も動きを確認できると思う。
- 通知後保護者が押し寄せるかと思ったが少人数ずつの対応でよかった。兄弟、姉妹は一緒に待機していた方がいいと思う。

[刈羽小学校]

〈令和3年度〉

- 今回の引き渡し訓練では、訓練ということもあり引き渡しの時間が決まっていた家の方もスムーズにお子さんを連れに来てくださっていた。本番に災害が起きた場合にどのような引き渡し状況になるのか、より具体的に考えていくことも必要と感じた。
- 実際にこのようなことが起こったらどうか、もう少しいつもの状態に近い環境でやってみるとよいと考える。学校近くの道路が実際は混雑するのだろうな、もっと引き渡しには時間がかかるのだろうな、と感じた。コロナ対応を考えると、各教室で待機は良かったと思う。ただ、全体がどうなっているのかを見るのには体育館だと把握しやすいと思う。
- 休み時間夏場は外に遊びに出ている児童も多いので、休み時間を想定して行う訓練も取り入れると良いと思いました。
- 保護者が引き取りに来ずに、学童に行かせたり、徒歩バスで帰宅する児童が多数いた。実際にはあり得ないことである。もし、実際に避難が必要になり、保護者が迎えに来られない場合はどうするのか、ということまで想定して訓練しなければ意味がないと思う。学校だけでなく、もっと役場とも連携して訓練するべきだと思う。
- 大きな地震が発生すれば、停電が発生し道路も通行不能な所が発生するはず。そうした被災時の引き渡し訓練を想定していたが、駐車場は事前に空けられ、引き渡し困難な児童も事前に報告を求められる等、地震被災の経験が生かされていないものでした。大地震直後の引き渡しとして、現実とかけ離れた訓練でした。

〈令和6年度〉

- 実際の場面を考えた時、学童やスクールバスの児童は最後のほうがよいと分かりました。
- 駐車場は実際に災害になった場合に職員が車を移動することは無理なので、役場の駐車場を開放するなどの現実的な訓練になるといいと思いました。
- 受付2人と児童管理1人がどのように連携をとると動きがスムーズになるのだろう。
- 実際に事故があった時にスムーズにバスの手配ができるのか、運行できるのか不安です。
- すぐーる（※一斉通知ができる連絡用アプリ）を送る時間が早すぎないかと思いました。保育園のように連絡もらってからすぐ駆けつける方が緊迫感が出ると思います。
- 仕事中で携帯での通知確認ができなかった。
- 引きわたしの際に、学校側で身分を確認する資料を整え、決めておく大切さを感じた。地震でも火事でも持ち出すものを決めておきたいし、資料として有効なものが必要と感じた。
- 打合せの際、地区別に並んだ方が断然早いという意見があったが、やってみても地区別が早くなる理由が見つけられなかった。早くするための体制づくりが知りたい。
- 引き渡し方法について職員間で共通理解が図られていたことがスムーズな引き渡しの実施につながったと思う。訓練なので事前に各保護者に参加方法（対応方法）を連絡しても

らい、それに基づいて私たち担任も対応していたが、実際に災害が起こった時にも、どのように児童を保護者に引き渡すか、学校と各家庭が今回のように連絡していけるとよいと思いました。

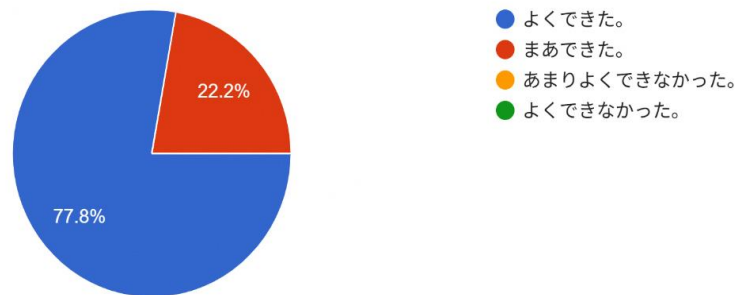
- 児童が保護者を待つ時間が（訓練ではあるのですが）長いように思いました。実際に災害が起こった際はもう少し早く保護者が対応されるのではと思います。
- 「実際の有事の時の対応」と「訓練であるがゆえの対応」が混在している部分があり、職員間でも共有しにくい部分があった。訓練でも複雑な動きだからこそ、こういった機会が大切だと思った。
- 下校方法が急きょ変更となる児童の引き渡し受付についても対応できた。緊張感をもって訓練できたが、有事の際にはもっと想定外なことが起こるため、柔軟に動けるよう準備をしておきたい。
- 訓練の為に職員駐車場を空けましたが、実際の状況に添って場面を予測した訓練が必要だと思います。積雪時の道路状況も予測した避難計画の策定を。
- 原子力災害が発生するほどの地震では学校の電源もダウンすると思われます。放送が使えない設定の訓練を。
- 特に改善点はありません。児童がスムーズに動いていてよかった。
- 熱中症予防のため、面倒でもランチルームで待機してよかった。
- 開放玄関にフリーの案内係を設置してスムーズだった。
- 保護者への引き渡しメール配信後、開始時刻まで45分ある計画だったが、配信後順次受け入れでも良いのではないか。（実際は10分早めた）
- 報道完全NG、インタビューNG、OKなど取材が入ることによっていろいろ煩雑であったことを評価員の方にしっかり伝えてもらいたい。
- 保護者が来るのを待つまでの時間で、子供が何していたらよかったかな…と。本を持たせるべきでした。
- 暑い時、寒い時はエアコンのあるランチルームがよいと思いました。また実際の時には待ち時間が長い時は机と椅子のあるランチルームがよいと思います。引き渡し訓練の時は待機場所をランチルームと考えておくとよいと思います。
- 駐車場で道路の混雑具合を確認するために、駐車場を空けたりせずに通常の状態訓練を行う必要があったと思います。
- 引き渡し手順全体の動きを確認することが出来てよかったです。

[刈羽中学校]

〈令和 7 年度〉

◆生徒

【①今回の訓練はどうでしたか？】



【②①で選んだ理由を書いて下さい】

- 放送を聞いて慌てずに行動できた。
- 放送を静かに聞いて指示に従った。
- 訓練に集中し、ふざけずに真面目に取り組んだ。
- 放送後、すぐに指示に従って行動できた。
- 移動中や指示を聞いているときに、喋らず静かに行動した。
- 実際に起こることを想定して、緊張感を持って行動した。
- 訓練中に私語を避け、集中して取り組んだ。
- 放送や指示を受けて焦らず冷静に対応できた。
- 少しふざけたり、友達と話してしまったことがあった。

【③教室で待機している時に気付いたこと、気になったこと】

- 放送を聞き逃さないようにすることが大事。
- 冷静に行動し、落ち着いて待機することが重要。
- 放送中は静かに聞くことが必要。
- 廊下のドアが開いていることに気づいた。
- みんなが静かに過ごし、真剣に行動できると思った。
- 放送を待っている時間が少し長く感じた。
- 荷物を取りに行く時に混雑が予想される。
- 放送を聞かずに勝手に行動すると危険。

- 体育館移動時に列を乱す人がいた。
- 放送後、皆が静かに行動した。

【④教室から格技場に移動している時に気付いたこと、気になったこと】

- 下駄箱が混雑していた。
- 靴を下駄箱に置いて行って良いのか不安だった。
- 階段が多くて急ぐと危ないと感じた。
- 喋らずに移動すると指示がよく聞こえた。
- 移動時に焦らず、ゆっくり丁寧に行動することが大事だと思った。
- 移動中にバラバラに行動していたため、下駄箱が混雑し、事故が起きる可能性があると感じた。
- 移動がスムーズで冷静に行動できていた。
- 進行方向にカメラがあり、少し移動しづらかった。
- みんなが横に並んでだらだら歩いていたため、早く移動したくても追い越せなかった。
- 移動時に静かに行動することの重要性を感じた。
- 移動準備が不十分だったので、次回はしっかり準備して素早く行動したいと思った。
- 地震時には家具やガラスが散らばって移動が難しくなると感じた。

【⑤格技場で待っている時に気付いたこと、気になったこと】

- 2年生の列と混ざってしまっていた。
- バスの待機時間が長く、いつ来るか分からずソワソワした。
- 私語があった。
- 訓練では私語をなくすことが大事だと感じた。
- 親が来るまでしっかり待つことが大切だと思った。
- 親が来るのがいつか不安だった。
- バスの人や迎えの人が来ないときに、話し声や遊ぶ姿が目立った。
- 親が来るのを待つのが大変だと感じた。
- みんなが静かに待っていて、親が来たときに分かりやすかった。
- すぐに連絡して親が来るのが早すぎると感じた。
- 本番では、親が来れない場合、放射線から逃げるために歩くことが重要だと思った。
- 次の指示が出るまで静かに待てた。

【⑥バスで送迎されている時に気付いたこと、気になったこと】

- 親とバスの運転手さんとのバス停での食い違いがあった。
- バスではなく車で移動した。
- 外に出る際、マスクをしていないことや服が汚れるのではないかと感じた。

- 荷物があると窮屈だが、荷物を置く場所を決めておけば問題なさそう。
- 村上で無事に家族と再会できるか不安だった。
- バス停の名前が紛らわしかった。
- 渋滞で逃げられないのではないかと不安だった。
- 訓練が終わるまで静かにしていた。

【その他】

- いい経験になった。
- 親が来るのが遅れるかもしれないと心配。
- 最終的にどこまで行けば安全かが気になった。
- 訓練に備えることが大切だと気づいた。
- 車やバスが来れない状況も想定すべきだと思った。
- 先生の話聞いて行動できた。

◆保護者

【気付いたところ（実施時期、時間、流れなどについて）】

- 駐車場への誘導もスムーズで、すぐに娘の引き取りを行うことができました。万が一、なにかあっても冷静に行動したいです。
- 良かったと思います。
- 駐車場に誘導の先生がいらっしゃったのでスムーズに駐車出来ました。
- 時間帯も暗くなる前で良かったです。ありがとうございました。
- 本番を想定した訓練で良かったと思います。
- 子供達も訓練で災害時のイメージが出来ました。
- 混雑もなく、受け渡ししていただく際もスムーズに行えました。ありがとうございます。
- 車両の流れ（国道側から福祉センター側へなど）をある程度は周知して統一した方がスムーズかと思います。
- 冬場など側道に雪などがあり道がさらに狭くなっている場合、学校付近の細い路地では出入りの車で混み合いそうな気がしました。
- 普段学校にいかないのどこに迎えにいくかわかりにくかった。
- 受け渡しはとてもスムーズで迅速でよかった。
- 駐車場が満員になった場合、どこに停めたらいいか分かると心づもりができて、落ち着いて行動できると思います。訓練を重ねる事で、有事があった場合流れが分かっていて、落ち着いて行動できると思うので、続けた方がいいと思う。

◆職員

【生徒の動きで気付いたところ】

- 教室から格技場に入って来るときに、私語なしで落ち着いて入って来ていた。
- 玄関で混雑する。混雑緩和をするための対策が必要か？
- 全体的に真剣に取り組めていたと思う。
- 放送がどこまで細かく指示を出すのか生徒が事前に知っておくと、早く動きすぎる（反省で出た内容）ことがないと思う。
- 放送が入った時に、すぐに静まって指示を聞くことができていたのがよかった。
- 自分の帰宅方法を把握できていてよかった。
- 1年生と2年生が玄関付近で混雑していた。学年ごとの移動のタイミングや動線を踏まえると改善できそう。
- 引き渡し開始時の整列や移動が速く、落ち着いた行動ができていた。
- 想定外の状況にも落ち着いて行動できた生徒が多く、訓練の成果が表れていた。

【職員の動きで気付いたところ】

- スムーズに動いていたと思う。
- 生徒を引き渡す際に二重確認をしたり、兄弟関係の共有をしたりなどの共有を直前にしておけば良かった。
- 本番を想定した場合、「準備」しすぎ？ラミネート、ブルーシートなど。
- 社会体育玄関でお迎えでしたが、間違えて2階の玄関に上がりそうな人がいました。最低限オープンスペース下で「こっちです」と案内する職員か階段に表示かバーが必要だと思いました。
- 引き渡しの場面、「複数で対応」について、役割を明確にしておいた方が良かったと思います。例えば、1人が名簿に記入し生徒の名前を呼ぶ、もう1人が生徒が親のもとに行くまでを見とる、など。万が一の時はもっと人がごちゃごちゃしていると思うため。
- 保護者受付の場所をもう少し格技場入り口に近づけても良いのではないかと感じた。
- 1回目の放送で動いていたクラスがあった。放送時に待つのか動くのか、明確にする必要がある。
- 全体的に、教職員の連携意識と危機対応意識の向上が見られた。本部・誘導・名簿確認など、役割分担に基づいた行動が概ねできていた。

【その他】

- 実際に動いてみないとわからないので、日頃から訓練しておくことは大事だと思った。
- 終学活が終わってから訓練が始まるまでが長い。短くした方が良かった。
- 駐車場係は実際引渡しで駐車場に立つ場合は放射線の危険が考えられるので防護するための対策が必要だと思います。

- 状況の想定を事前に生徒と共有した方が良いと思います。
- バス停の名前が紛らわしいものがあり、生徒と運転手の混乱をまねいていたので見直した方がよい。
- (刈羽診療所→旧刈羽診療所、加藤商店→加藤酒店(かつて加藤商店前という別のバス停があったようで、経験豊富な運転手さんはそちらだと思っていたようです。))
- バスを振り分けるときに地域の距離感を考えて振り分けした方がよいと思います。今回は2号車に油田の生徒がおり、時間がかかりました。学校近辺の生徒は1号車でも良かったと思います。
- 今回は訓練のため、玄関の表示等が用意されていてスムーズにできたと思います。しかし有事のときはそういうものを用意する時間がないため、事前にある程度表示を作成して保管しておいた方がよいのではないのでしょうか。訓練の度に見直して、修正して保存しておくといいと思います。
- 週明けの初日に訓練を行うのは避けた方がよいと思った。月曜に最終確認をし、その週に訓練するのが理想的だと思う。
- どこまで実際の避難を想定して訓練を行うのか、よく分からなかった。打ち合わせが不足していたと思う。
- 実際の場面を想定し、迎えの保護者が土足で入ってよいのなら、生徒も上履きを脱いだ時点で外履きを履いてもよかったのではないかと思った。
- 実際の避難を想定するなら、職員は学校側の駐車場を空ける必要はなかったのではないと思う。
- 引き渡し訓練の日は、学校で行う社会体育も活動を休止した方がよいと思う。
- 駐車場は、初めの30分ほどは車の出入りが頻繁にあったが、流れはスムーズだった。特に職員駐車場は、接触を防ぐためにも出る車と入ってくる車の様子を見て誘導することが大切だと思った。
- 万が一の時の動きの確認ができました。生徒にとっても、自分がどのように動けばよいのか考えるきっかけになったと思います。
- 駐車場など事前に準備できましたが、実際に動かなければならない時は混乱すると思いました。
- 引き渡し関係に必要な道具を一つにまとめて、すぐに持ち出せるようにしておく必要がある。
- 施設敷地緊急事態に移行する連絡も村教委から来るが、シナリオ中になかった。また、その際、バスで避難するという2回目のすぐえる配信をするので、それもシナリオに入れておく。
- 格技場に集合時点での人員報告がシナリオにない。

【刈羽村としての今後の課題】

- 小中学校の教職員は通常数年で転勤となり、転勤に伴い、訓練で経験を積んだ教職員が転出し、訓練の経験のない教職員が転入するため、定期的に訓練及び研修を実施して避難計画の実効性を維持、向上させ続ける必要がある。
- 前回訓練時の反省や改善点を次回訓練時に確実に引き継げるよう、学校内での情報伝達や引継ぎについて、教育委員会などと連携し強化を図る必要がある。
- 実災害発生時には、情報の錯綜、対応中の混乱等が生じる恐れがある。そのため、学校の職員だけではなく、刈羽村の職員についても災害発生時の対応について繰り返し訓練を行い、訓練通りに連絡・指示等が行えるよう対応力を向上させていく必要がある。
- 「駐車場の案内をする職員のため、防護服等が必要」との記述がアンケートに散見された。実際の保護者への引き渡しは、原子力災害の発生が予見される段階で早期に実施され、外部に放射性物質が降り注ぐ中で実施されることはない。学校の職員には、どういう段階でどのような動きをするかを正しく認識してもらうことが重要であり、今後も研修等を通じて災害時の対応を確認し身に付けていってもらう必要がある。